
茜くんの葛藤

青居ハル

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

茜くんの葛藤

【Nコード】

N0647U

【作者名】

青居ハル

【あらすじ】

茜くんの悩み事の裏側です。

茜くんのホントの悩みはこんなこと。

自分でも悩み多き青少年だと思うけど。

きつと君は自分こそがその最大の悩みだなんて気付いてもいないんだろうね。

タン、タン、タン・・・・・・・・

ゆっくりとだが確実なリズムで玉葱を刻む葵の横で俺はこっそりとなんな事を考えつつ、ため息を零してしまう。

耳聡い彼女はそんなため息にいつも反応して尋ねてくるが、今日は刃物を使っている最中の為かどうやら気付かれずに済んだようだ。

そう。葵はいつだって俺のため息にいち早く反応する。それはもうプロと言ってもいいくらい。

にも関わらず、その悩みの根本的な所には全く気付いてくれない。まあ、思わず「晩御飯のメニュー」とか「妹の機嫌」とか「古典の宿題」とか言っちゃ俺にも確かに非はあるだろうけど。

5歳児の妹だって気付いているのに、コレって鈍いにも程がないか？

「茜くん、玉葱刻んだけど・・・・・・・・何？」

こんなにも君の事を考えている俺には、暢気に玉葱を刻み終えた彼女の笑顔が眩しくて。

「・・・・・・・・何でもない」

素っ気無く返してしまう俺ってなんて駄目なんだ、と自己嫌悪に落

ち込んでしまう。

いつもは俺や葵にベツタリな妹も今でグッスリとお昼寝中で、海外小説の翻訳をしている母は自室に籠りつきり。

ただでさえ学校が違う俺が葵と二人っきりで過ごせる時間は今を置いて他にないのにつ！

何か話題はないだろうか？と悩んでいると葵の方から話を振ってきた。

「茜くんって……」

しかも話題は俺がよっ！？

「お婿さんにしたいタイプだね」

「……はあ？？」

怪訝そうな表情を浮かべる俺に葵は「だって！」と早口で理由を並べた。

「勉強できるし、スポーツできるし、笑顔だって絶やさないし、家族想いだし！」

いやいやいや。

勉強は授業の予習復習をしているからだし、スポーツは必修部活でバスケしてるだけだし、笑顔は人間関係を円滑にする為の言わば「スマイル0円」だし。

極めつけの「家族想い」！？？

あれは別に想ってやっているわけじゃなくて、自分の事をしていると勝手に寄ってくるんだよ！奴らは寄生虫のようにつ！！

って言えたらどんなに言いか……あー……マイナスイメージ

ジ怖くて言えない……

「それに料理だって私より上手だし、手際もいいんだもん！」

「……………葵だって別に下手じゃないだろ、料理」

ただちょっと僕がするよりも野菜の切り方が雑だったり、盛り付けがイマイチだったりするだけで。

「俺は美味しいと思うけど」

「へ？」

「葵の料理」

「……………あ、ありがとう」

ここで更に気の利いた褒め言葉でも言えたら良いんだけど。

それでも僕のこんな一言で彼女が嬉しそうにしてくれるから、僕も思わず笑ってしまってしまうんだ。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0647u/>

茜くんの葛藤

2011年10月9日07時50分発行